

シマムセンオーディオ試聴会 (2024.11.23)

—アキュフェーズ新製品—

1. はじめに

シマムセン CYMA で開催されたアキュフェーズ新製品試聴会に行ってきました。

2. 開催要項と使用機器

開催要項は下記のとおりで、11月23日(土) 13:00~14:30 のプログラムに参加しました。



A-48S



E-800S

新製品試聴会 11月23日(土)

〈E-800S〉2019年11月に50周年記念モデルとして発売したE-800をモデルチェンジ。セパレートアンプのトップモデルに匹敵するクオリティを目指した、インテグレートッド・アンプのフラグシップ・モデル。

〈A-48S〉上位機種で開発された設計テクノロジーを基にA-48を一新、出力の向上と魅力溢れる音質に磨き上げた「A級ステレオ・パワーアンプ」。

今回は、Accuphaseの両新製品を中心とした試聴会を開催します。

〈日程〉 11月23日(土) ①13:00-14:30 (E-800S)
②15:00-16:30 (A-48S)

〈会場〉 ホリノビル 2階 **CYMA**
(大阪市浪速区日本橋4-5-20)

〈ご予約方法〉
シマムセンHPIにてご予約受付中

HP
shimamusen.co.jp

電話番号
06-6632-2854 (イベント担当係)

イベント情報はこちら/


スケジュールと使用機器は以下のとおりです。

日時

2024 年 11 月 23 日(土)

第一部 13:00～14:30

Accuphase の新製品 A 級プリメインアンプ「E-800S」を中心とした試聴会を行います。

第二部 15:00～16:30

Accuphase の新製品 A 級ステレオパワーアンプ「A-48S」を中心とした試聴会を行います。

※一部と二部で講演内容が異なります

【使用機材】

◇第一部

	(メーカー/機種)	(税込み定価)
[プリメインアンプ]	Accuphase / E-800S	(¥1,265,000)
[SACD プレーヤー]	Accuphase / DP-770	(¥1,507,000)
[スピーカー]	B&W / 804D4 MR	(¥2,530,000/ペア)

◇第二部

	(メーカー/機種)	(税込み定価)
[プリアンプ]	Accuphase / C-2300	(¥2,420,000)
[パワーアンプ]	Accuphase / A-48S	(¥880,000)
[SACD プレーヤー]	Accuphase / DP-770	(¥1,507,000)
[スピーカー]	B&W / 804D4 MR	(¥2,530,000/ペア)

会場 CYMA 試聴室 (シマムセン別館 2 F)

講師メーカー担当者

内容

Accuphase の新製品を中心とした試聴会を行います。

第一部では A 級プリメインアンプ「E-800S」を、第二部では A 級ステレオパワーアンプ「A-48S」を中心とした内容となります

※一部と二部で講演内容が異なります

3. 試聴会の経過

新製品のプリメインアンプ E-800S を DP-770 からの CD で再生し、B&W 804D4 MR を駆動させます。



当日のセッティング

試聴は、技術的な解説を交えながら進行しました。

最初は人生のメリーゴーランドという曲ですが、弦楽が少し喧しい印象です。

次はホルトとの惑星からマースですが、クリアーで迫力がありますが、全体に音がきつく定位が甘い感じです。

次は女性ボーカルですが、クリアーで伸びのよい歌唱です。

ピアノ曲の組曲「仮面舞踏会」ですが、打鍵の勢いなどはいいいのですが、倍音不足のせいか、音の艶が不足気味です。

バッハの無伴奏チェロ組曲のプレリュードでは、解像度は良いのですが、チェロの音の湿度感がほしいところです。

ビッグバンドの Sing, Sing, Sing ではドラムの切れや制動がよくきいています。

以下、女性ボーカル、男性ボーカルと続きましたが、いずれもクリアーな印象です。

次のピアソラのブエノスアイレスの夏は、切れの良さと迫力があります、

さらに、ハーモニカとピアノのデュオ、ギターとベース、アカペラのグループの歌唱、締めくくりのウィリアムスの映画音楽と続きましたが、クリアーな切れの良さ、迫力などが目立ちました。

以上のデモでは、Phase ボタンの INVERT については、一度も触れることなく再生が進行しました。

アキュフェーズの試聴会担当者に Phase ボタンの使い方やアキュフェーズのフォノイコは 3 番ホットだからそれと組み合わせた場合、Phase ボタンをどのように設定するか聴いてみましたが、E-800S もデフォルトは 3 番ホットで整合をとっているということです。すなわち、取扱説明書によると下記の記載があり、③は 3 番ホットということらしいのですが、この記載方法は同社のフォノイコライザーとは違います。

① : グラウンド

② : インバート (—)

③ : ノンインバート (+)

即ち、この記述自体が不明瞭であり、他社製品との整合も含めた **Phase** ボタンの使い方についても説明不足があるということを認めていました。

4. まとめ

アキュフェーズの製品とともに **B&W** のスピーカーも含め、トータルとして現代のハイエンドの傾向に沿っていますが、クラシックに関しては今一つ湿度感が欲しいところでした。

以上